

参考資料

1 建設基本構想検討委員会

(1) 雄勝地区統合小・中学校建設基本構想検討委員会設置要綱

雄勝地区統合小・中学校建設基本構想検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 雄勝地区統合小・中学校建設に関する基本構想(以下「基本構想」という。)の策定に当たり、広く市民や専門家の意見を反映させるため、雄勝地区統合小・中学校建設基本構想検討委員会(以下「検討委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 検討委員会は、基本構想の策定に関し、次に掲げる事項について協議及び検討を行い、その結果を教育長に報告するものとする。

- (1) 雄勝地区統合小・中学校建設に向けた学校の基本的な運営に関すること。
- (2) 雄勝地区統合小・中学校建設に向けた施設の規模、機能、内容等に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、基本構想に関し必要な事項

(組織)

第3条 検討委員会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

- (1) 雄勝小学校、大須小学校、雄勝中学校及び大須中学校の保護者を代表する者
- (2) 雄勝地区の住民組織を代表する者
- (3) 学校建設に関し学識経験を有する者
- (4) 雄勝小学校、大須小学校、雄勝中学校及び大須中学校の教職員
- (5) 前各号に掲げるもののほか、教育長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から検討委員会が第2条に規定する報告を行った日までとする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 検討委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選によりこれを定める。

3 委員長は、検討委員会を代表し、検討委員会の会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 検討委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 検討委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員長は、必要があると認めるときは、検討委員会の会議に委員以外の者の出席を求め、意見及び説明を求めることができる。

(庶務)

第7条 検討委員会の庶務は、学校施設整備室において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成25年4月1日から施行する。

(最初の会議の招集)

2 委員が委嘱された後、最初に招集すべき会議は、第6条第1項の規定にかかわらず教育長が招集する。

(3) 検討の経緯

	期 日	協議内容等
第1回	平成25年6月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演 演題「最近の小中学校の整備事例について」 講師 東洋大学 教授 工学博士 長澤 悟 先生 ・ 基本構想検討体制及びスケジュール（案）について ・ 雄勝地区統合小中学校の現状について ・ 基本構想策定方針（案）について ・ 意見交換会実施要項について
第2回	平成25年7月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本構想策定方針（案）の検討について ・ その他
第3回	平成25年8月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雄勝地区統合小・中学校基本構想策定方針について ・ 必要諸室について ・ その他
意見交換会	平成25年9月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校教職員を対象とした必要諸室等に関する意見交換会
第4回	平成25年9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雄勝地区統合小・中学校建設基本構想骨子（案）について ・ 必要諸室（案）について ・ その他
意見交換会	平成25年10月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校児童生徒を対象とした意見交換会（ワークショップ）
第5回	平成25年11月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雄勝地区統合小・中学校建設基本構想（素案）について
保護者等説明会	平成25年11月	
第6回	平成25年12月中旬	

参考資料

2 教職員との意見交換会報告書

(1) 開催目的

雄勝統合小・中学校について、検討委員会では地域における学校の役割について活発な意見が交わされております。会議ではグループ討議を採用するなどして、望ましい学校の在り方について議論を深めており、地域コミュニティ機能や災害時の避難所機能等への期待の高まりなど、地域住民の学校に対する思いが集約されつつあります。

一方で、学校は第一に教育の場であり、児童生徒と生活を共にする教職員から意見や要望を聞き取りながら計画をまとめていくことも重要であることから、教職員の立場からの学校づくりについて、意見交換会を実施しました。

(2) 開催時期

○月日 平成25年9月3日(火)

○対象 雄勝小学校9人、大須小学校7人、雄勝中学校5人、大須中学校7人

(3) 開催方法

○形式 学校毎に教職員が一堂に会して実施

○座長 長澤委員長

(4) 主な意見等

[総論]

- ・新設校は小規模校であり、立地も中心市街部まで遠いので、将来どうしていくかを考えることが必要ではないか。
- ・これまでの伝統も大事だが、これから何をしていくかが大切だ。共に同じゼロの状態から歩み出せば、一体感のある学校が作られるのではないか。

[各教科に関する意見]

- ・環境教育の一環として、ビオトープがあると良い。
- ・プールは敷地内にあると良い。移動に要するロスが大きく、移動に1コマは必要となるので。

[特別活動に関する意見]

- ・児童生徒数が少ないので、皆で会食でき、給食指導ができるランチルームがあると良い。学年の枠を超えた交流や地域の方々との交流などにも使える。
- ・視聴覚室は、各教室に視聴覚機能を設置できれば不要ではないか。

[小中併設に関する意見]

- ・小中が一緒にいることでメリットもあるが、時程の問題から小学校が休み時間でも中学校がグラウンドで授業をされていて、児童が校庭で遊べないということもある。
- ・地区人口が減っており、統合しても小規模校となる見込みである。そうなった場合に小中連携が重要となる。登米市の豊里小中のような教育課程を組める施設が望ましい。
- ・特別教室や備品は、小中双方で使えることを視野に入れて整備してほしい。
- ・統合した場合には、小中で時程が違う。授業中にチャイムが鳴ったり、プールの深さ等も違うことから、各方面に配慮が必要となる。小中を別棟とする案もあるのではないか。
- ・小中の併設校ではなく、幼稚園も含め「幼小中一貫校」とした方が魅力的なものとなるのではないか。
- ・小中の連携は大切であり、モデルとなるような学校に整備できれば、最終的に人も戻って来て、学校づくりと街づくりが並行してできるのではないか。

[区域外就学等に関する意見]

- ・区域外からの就学も考慮した検討が必要だと感じている。
- ・様々な事情で今後雄勝に住むことができない人も、子どもを通わせたいような学校を作っていきたい。

[児童生徒の養護に関する意見]

- ・保健室内から移動できる相談室があると良い。
- ・保健室は直接校庭から出入りでき、温水シャワー施設があると良い。

[地域との協働に関する意見]

- ・地域の学校という意識が、子どもたちにも地域にも感じられる施設となるような学校づくりをしたい。

- ・雄勝地区は伝統芸能を大切にしながら歩んできた。これを継承していくためには子どもたちの力が必要であり、継承活動が展開できるよう施設に特色が欲しい。
- ・地域の方が利用する場合、施設の管理区分を考える必要がある。
- ・図書室等を開放した場合に、安全面の配慮が必要となる。配置場所に工夫が必要。
→図書室は、休日に子どもが友人と遊んだり、地域と交流できる施設として考えられる。最も使い勝手が良いのは、地域住民自らが管理すること。運営方法も含めた検討が必要。(委員長)
- ・公民館的な機能を付加した場合、教員で管理するには限界がある。地域に施設を開放するのではなく施設そのものを併設し、管理者も配置した方が良いと思う。
→施設の開放が学校側の負担とならないよう、地域の方々が自主的に管理する仕組みを作っていくことが大切。それによって住民が学校に足を運ぶ機会にもなり、交流にもつながる。(委員長)
- ・雄勝地区では、「磯遊び」のようなことをできる場所がなかった。そのため、海のある地に育った子どもが、海を知らないという状況だ。地域の方々の協力を得ながら自然体験をさせられれば良い。

[建物の構造や内装に関する意見]

- ・コンパクトで機能的な学校であることを望む。
- ・内装に木材を使ってほしい。地元の間伐材などを使えばよいのではないか。
- ・無駄な教室はなくしてほしい。広すぎる校舎や物が多すぎでは管理しきれない。
- ・以前、円形の学校に勤務した経験があるが、使い勝手が悪かった。教室は四角い方が良い。
- ・児童生徒数が少ないと、維持管理が負担となる。毎日の掃除もままならず、十分に行き届かない状況だ。必要な教室等を確保しつつも人数規模に見合った施設であることが望ましい。

[防災に関する意見]

- ・防災面で安心できる施設としてほしい。
- ・この地域は、災害時に陸の孤島になりやすいので、太陽光発電などがあると良い。防災教育としても有効。

参考資料

3 関係者意見交換会（子どもワークショップ）報告書

（１）開催目的

雄勝地区統合小・中学校建設基本構想の策定にあたり、地域の将来を担う子どもたちが新築する学校に対し、どのような気持ちを抱いているのかを把握するため、雄勝地区内の児童生徒を対象に意見交換会を開催いたしました。

意見交換会は、学校をどのようなものにしたいか自分たちで考えることで、学校づくりに主体的に参加してもらうため、ワークショップ形式で開催いたしました。

当日は、参加者を三つの班に分け、自分たちが欲しいと思う部屋や地域と学校の関わり方、校舎や体育館、各教室の配置等について話し合い、最後に、班ごとに自分たちが考えた学校について発表しました。

ワークショップで得られた成果については、学校の利用者である児童生徒からの意見として、基本構想を検討する際の一助とします。

（２）日 時 平成25年10月14日（月）午後1時30分～午後4時45分

（３）場 所 雄勝総合支所 二階会議室

（４）参加者 雄勝小学校3人、雄勝中学校6人、大須中学校6人、合計15人

（５）内 容

- ① 学校と地域の現状等の説明
- ② グループ編成と進め方の説明
- ③ ワーク1
- ④ ショートブレイク・休憩
- ⑤ ワーク2
- ⑥ 発表・参観者との意見交換
- ⑦ 講評

(6) 発表

○1班



○発表

保育所の近くに小中合同で利用する場所を配置して、合同行事などができるようにしました。昇降口からすぐのところには映画館やゲームセンターなどがあり、地域の人たちが楽しく遊べる場所を作りました。映画館では、小学校や保育所の人たちとも交流を深めます。

展望台は、海や周りの景色が見られたらいいなと思って作りました。屋上から見渡すと、敷地内には自然がたくさんあります。

森の中には「呪いの部屋」があり、そこで怖い言葉を三回言うと、とても怖いことが起こります。

○質疑

1 普通教室が海の家のところにあったりなど配置がバラバラですが、それぞれ別々の場所で勉強をするのですか？

➤ 自然などの勉強をするときなどに使います。

2 中学生と小学生は、どのように分かれていますか？

➤ 分かれています。一緒になっています。

3 職員室はどこですか？

➤ 校舎の真ん中です。

○2班



○発表

校舎は、1階、2階、屋上となっています。一階が小学校で、中学校が二階。理科室や美術室などは、小学校でも使えるようにしようと思っています。

校門の近くの道路沿いに、桜並木を作りました。

校舎には、地域の人でも使える「触れ合える室」があります。この部屋は、小学校・中学校・保育所みんなで触れ合えるところを作ろう、ということで作りました。このほかにも、談話室や図書室、ホールなども地域の人や学生みんなが使えるようになっています。

談話室の中にはエレベーターがあって、二階と繋がっています。その昇った先にも「触れ合える室」があります。

校舎の中には、雄勝に来た人が泊る場所だったり、震災時に避難してきた人が泊る場所があります。その場所の隣には、布団や非常食などを収納する倉庫を作りました。

屋上には、海の見える展望台を作りました。それから、もしもの時にために太陽光電池を設置しました。また、屋上には畑も作ります。

小学校から近いところに150mトラックがあり、その隣に体育館・武道場・プールと、各施設がまとまって配置されており、コンパクトになっているところが2班の特徴です。

学校の近くに、保育所や診療所などの施設もまとまっているので、交流も簡単にできると思います。また、保育所の近くには小さな公園や池があり、「遊び」を考えているのも特徴です。

○質疑

1 屋上の畑には何を植えるのですか？

➤ 例えば、保育所の子供たちを招いて芋ほりをしたり、学校で収穫してみんなで食べる行事を企画してもいいと思います。理科の実験に使うキャベツを植えたりしても良いと思いますし、何を植えてもいいと思います。

2 特別教室は小学校と中学校で一緒に使うのですか？

➤ そうです。特別教室は中学校の方が使う回数が多いと思うので、中学校と同じ二階にまとめました。

3 先生たちのいる場所はどこですか？

➤ 職員室です。職員室の近くにはエレベーターがあるので、小学校と中学校の先生たち、みんなここでもいいかなと思います。

4 この学校の雄勝らしさとはどこですか？

➤ 前の雄勝小学校には、校門のそばに桜がありました。それを再現しようと新しい学校にも校門のそばに桜を植樹しました。また、地域の人たちと一緒に使えるように、駐車場を作りました。

5 大須と雄勝が一緒になりますが、皆が仲良くできる工夫はありますか？

➤ 「触れ合える室」を3室作りました。

6 「触れ合える室」とは、どのような感じの部屋ですか？

➤ だれでも利用できます。そのとき話題となっている物を置いて、それを使って会話してもいいと思います。

7 保健室の隣に「触れ合える室」を設けた理由は？

- 触れ合える室を「兼廊下」のようにしても良いなと思ったからです。そして体育館と繋がります。そのため、体育館の近くに保健室があります。
- 8 このエリアは山や海など自然に囲まれた地域ですが、この自然を生かした学校ができたなら、どのようなことをしてみたいですか？
 - 自然観察など。理科の幅が広がると思います。
- 9 それ（問8）は、この建物のどこでできますか？
 - 春であれば桜並木だったり、屋上のキャベツで芋虫の観察などができます。

○3班



○発表

自然と海に囲まれた雄勝らしさを活かし、学校を作りました。

校門は斜面のなだらかなところに設計し、そこから高低差を利用して昇降口を一階と二階の間に設けました。職員室も1.5階とし、その隣には「大きい黒板」という掲示板があります。そこから一階と二階に分かれていて、一階は小学校の教室とし、二階は中学校の教室にしました。

三階に行くと理科室があり、その隣に保健室があります。休憩所や展望台などがあ

り、映画館や音楽室など音が反響しやすいところは一緒にし、図書室やゆっくりできる場所、縁側をまとめて配置したり。そのような設計にしました。

また、雄勝の特産である硯を展示する硯館を設計しました。ほかにも、地域の方々と交流のできる教室や、広い教室を近くに配置しています。また、ベットがあり、家庭科室があります。

学校と海が廊下で繋がっていて、釣り堀があります。また、魚をみんなに見てもらおう水族館もあります。釣り堀で釣りをしに行くには動く廊下を使います。釣り堀まで下がって行った帰りは、エレベーターで昇ってきます。釣り堀で釣った魚をすぐ調理できるように、近くに家庭科室を置きました。

池があって森に囲まれたところに保育所があります。体育館や武道場は校舎からあまり離れないところに置き、プールは雨でもプールの授業ができるよう開閉式のプールにしました。プールの隣には、非常時にも水が使えるよう貯水槽を設けたりしています。野球場はドーム式です。150mトラックには、中学校の教室から滑り台で直接行くことができます。

○質疑

- 1 映画館や硯館、縁側など地域の人でも使えそうなものが道路から遠いところにありますが、それはなぜですか？
 - 道路から入って来るときに、緑に囲まれて、海が見えたりいい景色があります。そういうところを尊重し眺めを意識したため、この場所に設置しました。
- 2 そこまで（問1）は、どうやって行くのですか？
 - 直接校舎の中を通ったり、景色を眺めながら敷地内を歩いてくこともできます。
- 3 滑り台は、なぜ中学生の教室からなのですか？
 - 高低差が必要なので二階に設けました。そこが中学校の階だったからです。
- 4 この学校には、ゲームセンターや釣り堀、映画館など楽しい要素がたくさんありますが、勉強を一生懸命やって賢くなる工夫はありますか？
 - この学校は、小中学校の教室がまとまっていることから、互いに、分からないところを教えあうことができます。
- 5 地域の人たちは、どういう風にこの学校を使いますか？
 - ゲームセンターや縁側でゆっくり過ごしたり、硯館や広いスペースで過ごしたり、釣り堀で一緒に釣りをしたり。こういう風に、地域の方々と交流できるスペースを用意しています。